

5	正負の数：加法と減法 加法(3)	年 組 番	名前
			/ 12 問

図 1 次の計算をしなさい。

① $(+3) + (-7) + (+2)$

② $(-4) + (+2) + (-4)$

● $(+3) + (-7) + (+2)$ **解法テク** 同じ符号を
 $= (+3) + (+2) + (-7)$ まとめてから計算する。
 $= \{(+3) + (+2)\} + (-7)$ (**-2**)
 $= (+5) + (-7) = -2$

(**-6**)

③ $(+6) + (-8) + (-12) + (+3)$

④ $(-5) + (-5) + (+3) + (-7)$

(**-11**)

(**-14**)

⑤ $(-2) + (+9) + (+2) + (-9)$

⑥ $(+14) + (-6) + (-4) + (+6)$

(**0**)

● $(+14) + (-6) + (-4) + (+6)$ **解法テク**
 $= (+14) + (-4) + (-6) + (+6)$ このように、0に
 なる組み合わせを
 見つけるとよい。
 (**+10**)

⑦ $(+0.8) + (+1.2) + (-0.4) + (-0.4)$

⑧ $(-3) + (-3) + (-3) + (+5) + (+9)$

(**+1.2**)

(**+5**)

⑨ $(-1.7) + (+0.3) + (-0.6) + (+1.8)$

⑩ $(-37) + (+23) + (-15) + (+41)$

(**-0.2**)

(**+12**)

ポイント ■ + ● = ● + ■ (加法の交換法則) や, (■ + ●) + ▲ = ■ + (● + ▲) (加法の結合法則) を利用する。

知 2 AさんとBさんが交互に同じ回数だけさいころを投げ、Aさんが出した数を正の数、Bさんが出した数を負の数として、ふたりの数の合計が0より大きければAさんの勝ち、0より小さければBさんの勝ち、0の場合は引き分けと決めました。さいころを6回ずつ投げた結果は、次の表のようになりました。

	1回目		2回目		3回目		4回目		5回目		6回目	
Aさん		-		-		-		-		-		-
Bさん	-		-		-		-		-		-	

(1) それぞれが3回ずつ投げたときのふたりの数の合計を求めなさい。

● $(+6) + (-4) + (+3) + (-5) + (+1) + (-4)$
 $= (+6) + (+3) + (+1) + (-4) + (-5) + (-4)$ (**-3**)
 $= (+10) + (-13) = -3$

(2) 6回ずつ投げた結果、勝ったのはAさん、Bさんのどちらですか。

● Aさん...+24, Bさん...-23で、ふたりの合計は
 $(+24) + (-23) = +(24-23) = +1$ (**Aさん**)
 となり、0より大きい。